

TOPIC

10年の感謝と未来へー

ふくしま子ども・女性医療支援センター記念講演会開催報告



地域に根差し信頼される 母子医療連携を提供

福島県に住む女性が
安心して子どもを産み、育て
そして女性が健康な一生を
過ごすために。

オープニング動画は、
こちらをご覧ください。



令和7年4月12日(土)、福島県立医科大学
ふくしま子ども・女性医療支援センターは、開設
10周年を記念した講演会を、コラッセふくしま
(福島市)にて開催しました。

ふくしま子ども・女性医療支援センターは、平
成28年に「女性が安心して子どもを産み育て、
女性の生涯にわたる健康を支える」ことを目的
として設置され、以来、県内一体となり福島県
内における周産期・小児・女性医療の充実に貢
献してまいりました。

具体的には、産科婦人科学講座、小児科学講

座、小児外科と連携・協力し、県外からの専門医
の招へいや若手医師のスキルアップ、専門診療
の充実、県内医療機関との連携強化のほか、婦
人科悪性腫瘍の低侵襲手術の導入支援や小児
集中治療室(PICU)の立ち上げへの参画など、先
進的医療の導入についても推進して参りました。

開設から10年を迎える今年においては、県
外から招へいた常勤医師が5名、非常勤医師
を含めると16名に達しております。これらの医
師は全て、産婦人科、小児科、小児外科のエキ
スパートであり、福島県内の子どもと女性の

医療を支える次世代の医師の育成に貢献して
おります。

講演会当日は、県内外から多くの医療関係者
や県民の皆さまにご来場いただきました。

今後もふくしま子ども・女性医療支援セン
ターは、誰もが住みやすく安心して子どもを健
やかに育て、健康に人生を送ることができる福
島県の実現を目指してまいります。

地域に根差した信頼される医療を提供し、
子どもと女性の健康を支える取り組みを一層
進めてまいります。

SPECIAL NEWS

本学 坪倉正治主任教授による連載が科学ジャーナリスト賞2025 特別賞を受賞

このたび、一般社団法人 日本科学技術ジャー
ナリスト会議が主催する「科学ジャーナリスト賞
2025」において、福島民友新聞にて連載中の
「坪倉先生の放射線教室」が特別賞を受賞しま
した。本連載は、福島民友新聞社からエンリー
され、厳正な選考を経て受賞に至ったものです。

記事は、2011(平成23)年の東京電力福
島第一原発事故を受けて、本学放射線健康管
理学講座坪倉正治主任教授が執筆している

もので、2015(平成27)年1月より毎週掲載
され、現在までに500回を超える長期連載と
なっております。

選考委員会は、被災地・福島において放射
線に関する基礎知識や被ばくの状況につい
て、簡潔で分かりやすく解説する継続的な報
道活動を高く評価。さらに、「連載を支える持
続的な努力と熱意に敬意を表して」の特別賞と
なります。

受賞にあたり、坪倉教授は「読者の皆さんの
おかげです。被災者の顔を思い浮かべながら、
日々の暮らしに役立つ情報を届けよう」と心が
けてきました。これからも変わらず、福島県民
の暮らしの再建に貢献できるような記事を発信
し続けたい」とコメントしています。

なお、贈呈式は2025(令和7)年7月5日、
東京都内の日本プレスセンタービルにて執り
行われる予定です。



NEWS01

NEWS02

FMU Hospital Focus01

